

重点「道の駅」しちのへ 選定証の授与式を開催します

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を実施しています。

平成30年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の企画提案を募集し、平成31年1月30日、「道の駅」しちのへは重点「道の駅」に選定されました。

この度、下記において、重点「道の駅」選定証の授与式を開催しますので、お知らせします。

■選定証授与式

- 日 時：平成31年3月28日（木） 14：45～
- 場 所：「道の駅」しちのへ 道路・観光情報館
青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-997
- 出席者：七戸町長 小又 勉

国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所長 巖倉 啓子

《 記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社 》

問い合わせ先

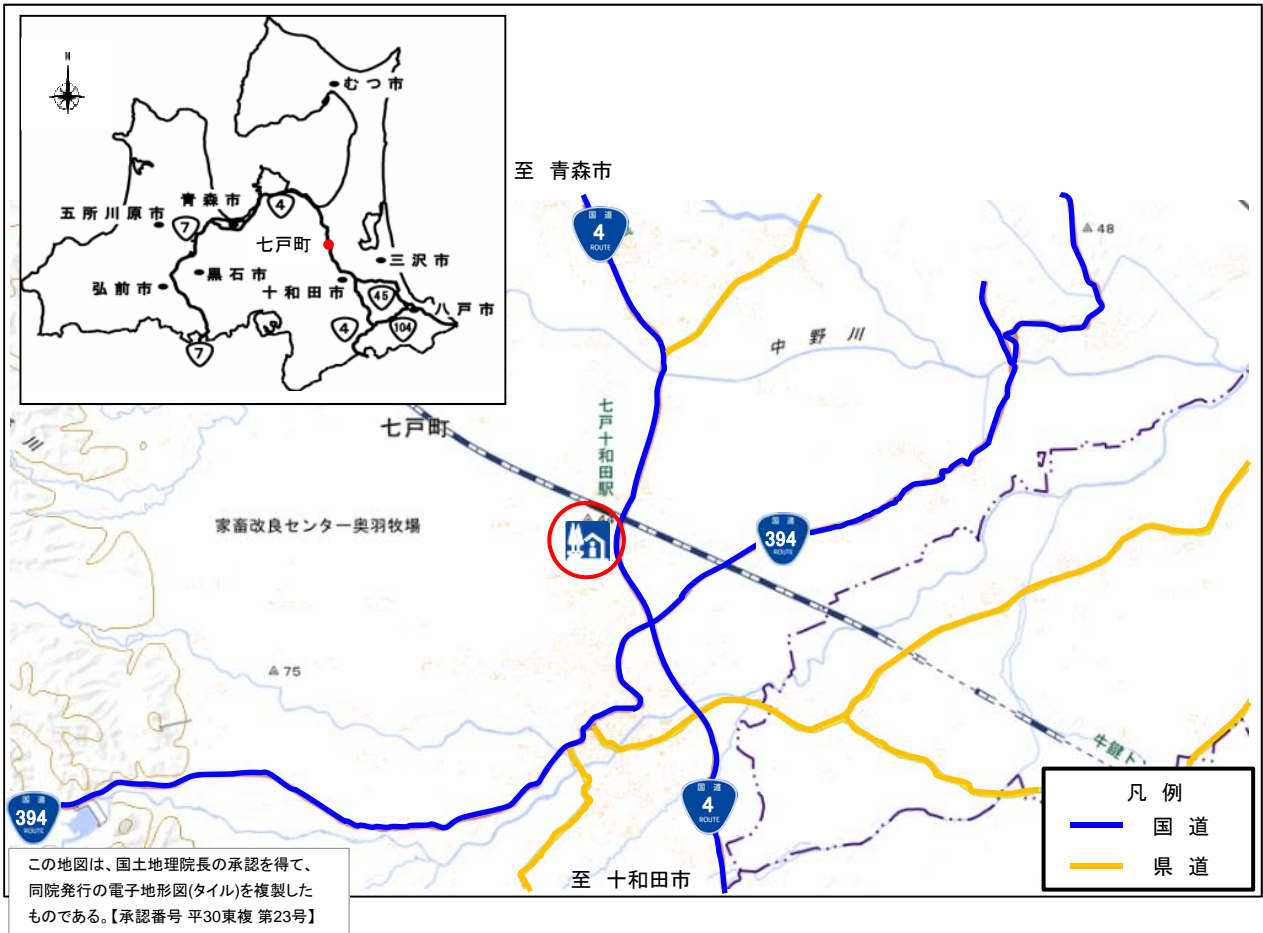
◆七戸町 商工観光課

商工観光課長 附 田 良 亮
電話0176-62-2137（直通）

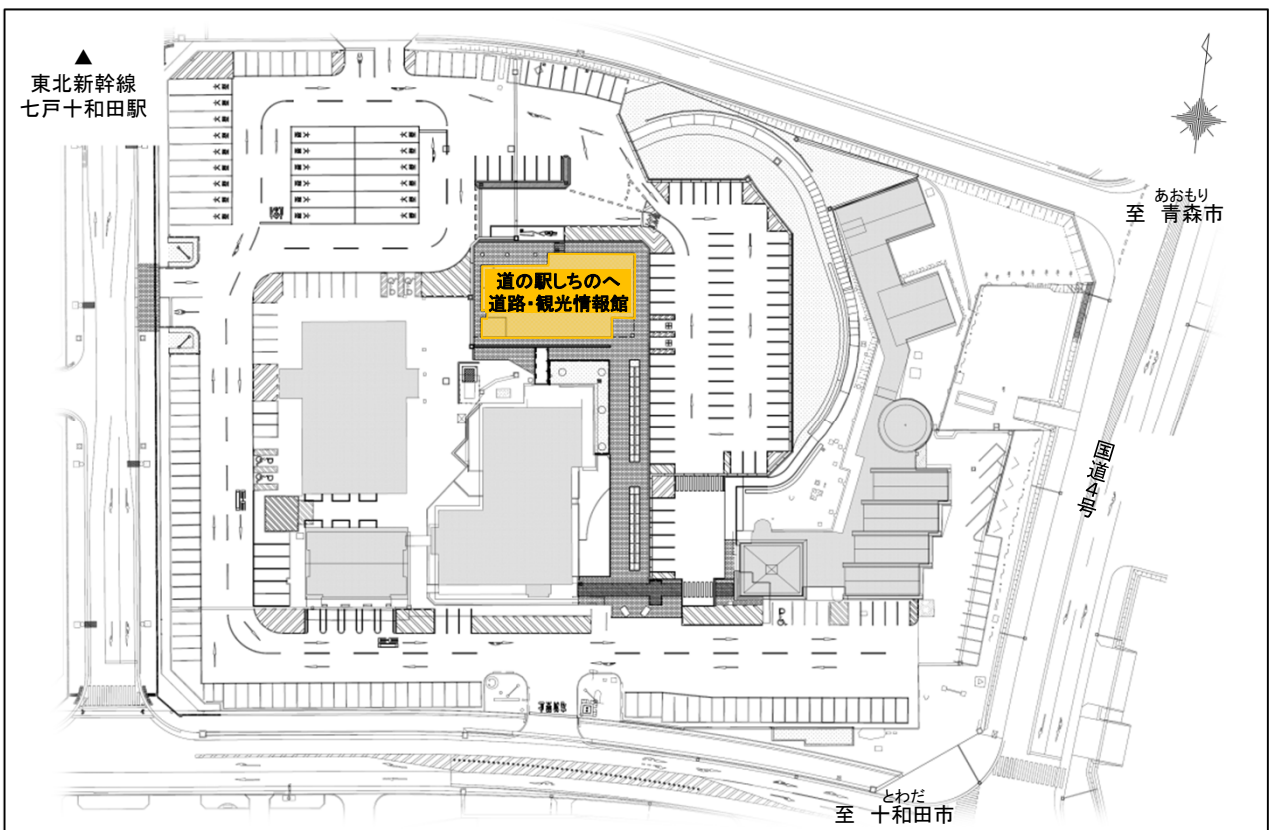
◆国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所

副所長(道路) 大 澤 尚 史 (内線205)
調査第二課長 相 馬 弘 文 (内線451)
電話017-734-4570（調査第二課直通）

【「道の駅」しちのへ位置図】



【「道の駅」しちのへ 道路・観光情報館】



- 十和田奥入瀬観光のゲートウェイとして、地域DMOと連携した滞在型インバウンド観光等の商品開発
- 農業体験や民泊ができる旅行商品の開発により、都市部向けの「七戸ブランド」(長芋・にんにく等)の販路拡大
- 子育て世代、若い世代の交流できる環境づくりにより、就業の場の創出、利用しやすい道の駅を目指す

道の駅を核とした地域マネジメントによる地域振興

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
しちのへ	青森県	七戸町	国道4号	既設	平成5年	一体型

<現状と課題>

- 青森県インバウンド需要が増加傾向、特に奥入瀬渓流が人気のなか、その取込みに苦慮
- 少子高齢化、人口流出による観光、農業の衰退
- 農業後継者不足による特産品(長芋・にんにく等)の生産・販売の維持
- 若者の流出抑止のための地域・産業の停滞



道の駅「しちのへ」

- #### 【機能向上による集客】
- ・商工観光課を道の駅に移設、強化
 - ・外国人観光案内所JNTO認定(L1)
 - ・第3種旅行業取得(観光協会)
 - ・コミュニティバス発着の集約
 - ・子育て世代、若い世代の利用しやすい環境づくり



連携

- #### 「地域DMO」
- #### 【集客力向上、マーケティング分析】
- ・インバウンドの滞在型観光に向けた旅行商品開発
 - ・特産品(長芋、にんにく等)「七戸ブランド」のマーケティング支援
 - ・農業体験や民泊実施に向けた勉強会
 - ・教育機関との連携



- #### 「風景街道」
- #### 【十和田奥入瀬浪漫街道】
- ・街道のゲートウェイとして、周辺自治体や関係団体と連携し、周遊観光情報を発信
 - ・十和田奥入瀬観光と連携した農業体験、民泊等の展開

- #### 【地域観光拠点化(インバウンド含む)】
- ・十和田湖・奥入瀬等の広域観光連携のゲートウェイ
 - ・季節行事にあわせた着付体験等企画の展開
 - ・地域DMOと連携した農業体験や民泊等の滞在型観光の商品開発



- #### 【産業振興の拠点化(地域ブランド確立)】
- ・地域DMOと連携した「七戸ブランド」の都市部への販路拡大
 - ・地域DMOと連携し、地域カードによるデータ分析、マーケティング支援
 - ・子育て世代から高齢者まで買い物しやすい道の駅



<提案の先駆性・ポイント>

- 地域DMOと連携した観光商品の開発・販売、旅行事業者と連携
- 地域DMOを構成する町 商工観光課を道の駅へ移し観光行政強化
- 地域DMOと連携した地域カードを活用したマーケティング情報分析
- 勉強会等の実施による人材育成
- 子育て世代、若い世代が買い物しやすい環境づくり、就業の場創出
- 観光を起点とした教育機関との連携

<実施内容>

- 観光総合案内窓口の設置(JNTO L1 ⇒ L2)
- 旅行商品(インバウンド向け)旅行商品の開発
- パーク&ライドによる周遊観光の促進
- 地域カードを活用したマーケティング支援と地域情報発信
- 地元農家のネットワーク化、新規就農の促進による所得向上
- 教育機関と連携した郷土愛醸成、就業の場創出